

大学構内でのクマ目撃時の報告フロー

【国際文化研究科】

目撃者

緊急の場合(遭遇・発見中など)

- ①まず、自身の安全を確保する。
- ②その後、110番通報を行う。
- ③以下の情報を速やかに国際文化研究科事務室に報告する。

■提供いただきたい情報

- ①情報提供者の氏名・連絡先
- ②目撃日時・場所・進路
例:4月1日AM12時10分
□□キャンパス〇〇棟前で目撃、南西に移動した。
- ③クマの特徴および出没頭数
例:全長約1メートル、成獣 1頭
- ④110番通報の状況
- ⑤(もし、あれば)写真や動画
野生動物に近付くことは大変危険ですので、
安全を確保した状況以外では撮影しないでください。

緊急でない場合

- ・動物を見かけたが、クマとは断定できない場合
 - ・目撃から時間が経過している場合
- 以下の情報を速やかに国際文化研究科事務室に報告する。

(参考)クマとイノシシの外観的な特徴

クマの特徴



- ・胴が太く、ずんぐりした体形
- ・平時は、ゆっくり、のそのそ揺れるように歩行する
- ・基本的に単独行動(複数頭での行動はまれ)

イノシシの特徴



- ・前重心で頭が低く、首から肩が盛り上がった体形
- ・低い姿勢のまま、直線的・水平に歩行する
- ・親子など、複数頭で行動する場面がよく見られる

部局担当

本部担当(総務企画部総務課総務第二係)へ報告する。
また、緊急の場合、部局内や近隣部局等に対して注意喚起を行う。

【注意喚起先の例】

- ・所属の学生・教職員等
- ・隣接する部局総務担当係
- ・学生寮、保育園、職員宿舍等の関係先
- ・構内入居団体、出入り業者(工事業者など)等

【国際文化研究科 事務室 連絡先】

国際文化研究科 総務企画係
電話:795-7541
メール:int-som@grp.tohoku.ac.jp

本部担当

- ①全部局の総務担当係へ情報共有を行う。
- ②学内のクマ出没マップを更新する。
- ③仙台市、宮城県、宮城県警に出没情報を共有する。

総務企画部総務課総務第二係
電話:022-217-4812、6041
メール:gen-som2@grp.tohoku.ac.jp

【参考】仙台市ホームページ「ツキノワグマ対策」

<http://www.city.sendai.jp/kankyochose/kurashi/shizen/petto/yase/higai/tsukinowaguma.html>